

2019年IDS（ケルン国際デンタルショー）訪問レポート



世界最大のデンタルショーIDSが2019年3月12～16日までドイツのケルンにて開催されました。会場面積は17万㎡と東京ドームのグラウンド約13個分の非常に大きな会場で、出展者は2,327社、入場者は166カ国から前回155,000名を更に上回る160,000名以上と過去最大を記録する盛大なデンタルショーでした（先日の中部日本デンタルショーの15倍以上の来場者数と、世界最大のデンタルショーの規模の大きさがわかります）。



2年に1度開催されるIDSは「これからの2年のトレンドを読める場所」と言われるほど、注目されるデンタルショーで、東京ドームグラウンド13個分が人で埋め尽くされるほどの盛況なため、各メーカーもIDSに合わせて多くの新製品や開発中製品等を発表します。

今回のIDSは、前回に引き世界各社から最新の口腔内スキャナー、CAD/CAM、3Dプリンター及びその材料が数多く出展され、IT技術を活用した未来の歯科医院像を見せる各種内容など『デジタルデンティストリー』が「より」進展してくることを実感する内容で、また予防や各種診療・エンドなどでも役立つ製品が多く登場しておりました。

下記、面白みを感じたブースや製品等を紹介させていただきます。海外でも参考出品の製品や、日本発売時期は未定の製品がほとんどですが、気になる製品等ございましたらシラネ営業マンへお気軽にお声掛けください。わかる範囲での情報をお伝えすると共に日本市場への発売開始の際には一早く情報をお届けできるようにしたいと考えます。

①	デンツプライシロナ	P 3
②	カボ	P 4
③	GC	P 5
④	ナカニシ	P 6
⑤	3M	P 7
⑥	イボクラビバデント	P 8
⑦	アマンギルバツハ	P 9
Break Time 1 IDS 会場の昼ごはん		P10
⑧	ケアストリーム	P11
⑨	DMG	P12
⑩	プランメカ	P13
⑪	クルツアー	P14
⑫	モリタ、タカラ	P15
⑬	オサダ、朝日レントゲン工業	P16
⑭	松風、トクヤマ	P17
Break Time 2 デュッセルドルフ街紹介		P18、19
⑮	DURR	P20
⑯	日本パビリオン (ヨシダなど)	P21
⑰	3 shape	P22
⑱	バウシュ、ウルトラデント	P23
⑲	EMS、コルテン	P24
⑳	予防製品 (クラデン、サンスター)	P25
終わりに…		P26

① デンツプライシロナ



広い IDS 会場の中でも、一番大きな展示スペースを占めたデンツプライシロナブースです。注目はやはり『セレック』です。新登場の『プライムスキャン』は、『オムニカム』から「精度」「速度」「使いやすさ」が更に進化し、20mm の深さでもシャープな画像が得れるようになりました。『オムニカム』でも既にクラウン・ブリッジなどの補綴治療には必要十分な機能を備えていますが、そのスキャナを更に超える品質のスキャナに多くの方々の注目が集まっていました。CT でも人気の『オーソフォス SL』に加え、『オーソフォス E (2D)』『オーソフォス S (3D)』とリーズナブルなバージョンも登場し、新型の『DAC ユニバーサル』また、同社が提供する矯正アライナーシステムの『シュアスマイル』など、続々と同社の元シロナ部門から紹介しきれないほど多くの新製品が発表となっていました。

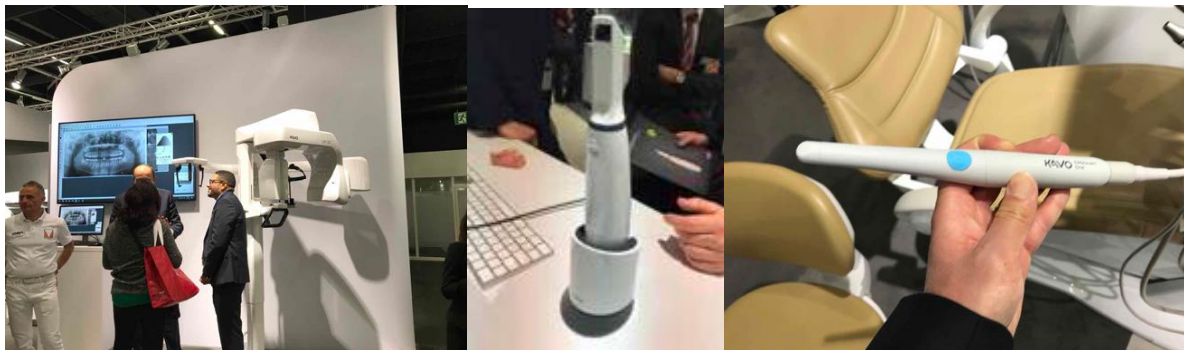


同社の元デンツプライ部門も負けていません。新しく発表した『スマートライト Pro』はカッコいいフォルムでコンパクトながら、直径 10mm の強力で直進性のあるライトを搭載。先は 360 度回転し、また、専用のカッコいい台に置けば自動的に充電、チップを右側のものに変えれば、カリエスやクラックを見つけやすい「トランスイルミネーション」機能も使用可能です。また、根管長測定器『プロベックス IQ Apex Locator』はわずか 80g の超小型ながら、『X-Smart IQ』とアイパッドとの連携で根管拡大が更に便利に行いやすくなる一品で、多くの方がデモでその便利さを実感しておりました。こちらの根管長測定器は今年中に日本での上市も予定されており、『X-Smart IQ』とのセットで購入を検討したい一品です。また、セメントではセルフアドヒーズブレジンセメントの『キャリブラアドヒーズブ』を発表するなど新製品が満載で、多くの人だかりのデンツプライシロナブースでした。

② カボ



続いては、ドイツ両雄のもう一角のカボブースです。今年後半にダナハグループから歯科部門のスピノフ上場を発表した会社からは、前回 IDS に引き続き、2D・3D やスキャナーなどの情報取得から、インプラント・エンドほか診査・診断、CAD/CAM や3D プリンターでの作製まで、最初から最後までデジタルワークフローを1つのプラットフォームで一貫して行える『DTX STUDIO』を大きく打ち出しておりました。『DTX STUDIO』の内容は前回より充実し、同プラットフォームを軸とし、カボ・カー・ノーベル・オオムコといった夫々のブランドがグループとしてのシナジー効果が出てくることに期待が高まります。



そんなカボブースでまず注目を浴びたのは、中部日本デンタルショーでも発表のあった『OP 3D Vision』のセファロバージョン。2管球搭載でパノラマからセファロの位置付け調整も楽で、パノラマの綺麗さや、FOV $\phi 50 \times 50$ のエンドモードでも高解像度な同製品に世界の方が目を向けていました。また、同社が日本市場のニーズも聞いて開発した低反発シートの『リラックスライン』のユニットも目立つ場所に複数台展示され、日本のニーズに合わせて開発した製品を世界向けにもアピールしていました。

ほか、参考出品で同社オリジナルの口腔内スキャナも出品されておりましたが、こちらはまだ発展途上でもう少し速度があれば…という内容でしたが、一方、コンパクトな口腔内カメラは解像度の高さやピントの合いやすさが素晴らしく、「これはいいね！」と多くの来場者が話をされていたそうです。今年後半にダナハグループからの歯科部門スピノフ上場後は、投資意思決定の速度が更に高まると発表しているカボ・カーグループの今後に期待です。

③ GC



日本歯科界を代表するグローバル企業の GC は、白が貴重のお洒落なブース。IDS に合わせて多くの新製品を発表しました。小型軽量でスリムな口腔内スキャナーの『Aadvia IOS』は、参考出品ですがデザインが更に洗練されフルカラーキャンの『IOS200』を発表し、多くの方の注目を集めておりました。取り回しがしやすく、最後臼歯遠心などにもミラーでスキャンしやすい形状かつ、先端オートクレーブ滅菌も可など、様々な利点を有した口腔内スキャナは、速度など更に改善中ですが、正式発表が楽しみな口腔内スキャナです。また、ラボ向けスキャナの『ALS2』は、印象+模型スキャンにより、模型分割可撤をしなくても、隣在歯との間も綺麗にスキャンできる『ハイブリッドスキャン』機能など便利な機能があるなど楽しみな製品です。



今後の発売に大きな期待が集まるのは『イニシャル LiSi ブロック』です。e-max のような二ケイ酸リチウムブロックですが特徴は「焼成済ブロック」ということ。既に焼成済みのため、ミリング後に焼成しなくてもそのまま高強度で使用できるという画期的製品に多くの方の注目が集まっておりました。

また、今後の発売予定製品で多くの注目を集めたのは 3D プリンター用マテリアルの『プリントテンプ』です。通常テンポラリーの作成には結構時間がかかってしまいましたが、3D プリンタを活用すればその手間も大幅に削減できます。出来上がった補綴物も非常に綺麗な出来で、多くの方の注目を集めておりました。ほか、オートミックスで便利なセメント『フジセム エボルブ』など様々な新製品が登場し、多くの方の注目を集めた GC ブース。次回 IDS は、ちょうど GC 100 周年での開催となりますが、100 周年に向けた同社の動きが楽しみです。

④ ナカニシ



世界トップクラスの歯科用ハンドピースメーカーのナカニシは、IDS 会場での広告量も多く、また、会場展示も大きなブースを構えて行い世界中の方々から大きな注目を集めておりました。

昨年 A 1 新工場を稼働開始して、生産性がより高まった同社からは、リーズナブルで大人気の S-Max M シリーズから、ミニヘッド M500L の高トルク版『M800L』と、スタンダードヘッド M600L の高トルク版『M900L』と新たに高トルクハンドピースが発表されました。

比較的安価なステンレス製 S-max M シリーズから、チタン製 Ti-Max Z シリーズと同等の高トルク製品が発表となり、今後の国内展開が楽しみな製品が出てきました (Ti-Max Z シリーズとトルクは同等。重さは多少 Ti-Max Z シリーズの方が軽めですが、タービンを持ち比べてもほとんど変わらないレベルの違いでした)。



また、注目を集めたのは新しく生まれ変わった同社インプラントモーター『Surgic Pro2』です。現行品からモーターの長さが約▲25%短くなり、軽くなって取り回しがしやすくなったほか、本体自体もサイズが小さくコンパクトになった同製品。サイズはコンパクトですが、トルク校正システムがより正確になり、また、インプラントの安定性を測れるオッセオインテグレーションモニタリングシステム『Osseo100+』や、『バリオサージ3』、フットコントローラーや iPad などとワイヤレスのブルートゥースで連携可能となるなど、精度も使い勝手も更に改良されたインプラントモーターが登場し多くの来場者が注目していました。また、日本販売は未定（現状は販売予定なし）ですが、サイズの違うクラス B オートクレープ『N クレープ』が 5 種類も一気に並べられ、新製品も多く、多くの来場者で賑わうナカニシブースでした。

⑤ 3M



3Mは売上高328億ドル（約3兆6,600億円）を誇る世界的な化学・素材メーカーですが、そのうち、約6,000億円の売上高は歯科関連の属するヘルスケア部門です。大規模な会社での基礎研究やコアテクノロジー技術を活かしながら、高性能な製品を多く歯科分野にも送り出す同社。そんな同社でまず注目を浴びたのは3Mのジルコニアブロック『3M チェアサイドジルコニア』です。セレックススピードファイアでの焼成にも対応し、スピーディーかつ800mpaの高強度を誇るジルコニアブロック大きな注目が集まっていました。



また、注目を集めたのは、小児用コンポジットクラウンの『プレディアトリック エステイティック クラウン』です。同社はステンレスクラウンを年間6百万症例以上扱っていますが、その実績をもとに事前に形が設計されたコンポジットクラウンで、審美的ながらスピーディーな治療を提供できるツールが新たに生まれました。

他にもわずか8色シェードでビタ19シェードをカバーすることのできるコンポジットレジン『フィルテック ユニバーサル レストレイティブ』により、治療がよりシンプルに行いやすくなる選択肢が増えました。自然な蛍光性、リコール時も見やすい造影性や研磨のしやすい3M ナノテクノロジーなどを備えた新CRです。

また、米州などでは、親水性が高く高精度な印象を取得できることから、シリコンと並んで人気の印象材ポリエーテル。そのポリエーテル素材ながら、わずか2分でセット可能と3歯ブリッジまでの範囲でスピーディーな治療を提供できるポリエーテル印象材『インプレグラム スーパークイック』も新たに発表となりました。様々な世界向け製品のうち、どの製品が日本でも上市となるかはわかりませんが、大手化学メーカーの技術を活かした製品開発が今後も楽しみです。

⑥ イボクラバデント



e-max など有名なイボクラバデントは 1923 年に設立されたりヒテンシュタイン公国の歯科材料総合メーカーです。リヒテンシュタイン公国はスイス・オーストリアの間にあり、世界で6番目に小さい「ルパンⅢ世：カリオストロの城」のモデルにもなった小国ですが、その小国から世界 29 カ国に拠点をもち、120 カ国以上の国々に製品を届ける売上高 CHF810 百万（約 902 億円）、従業員約 3,500 人の大手企業へと成長しております。

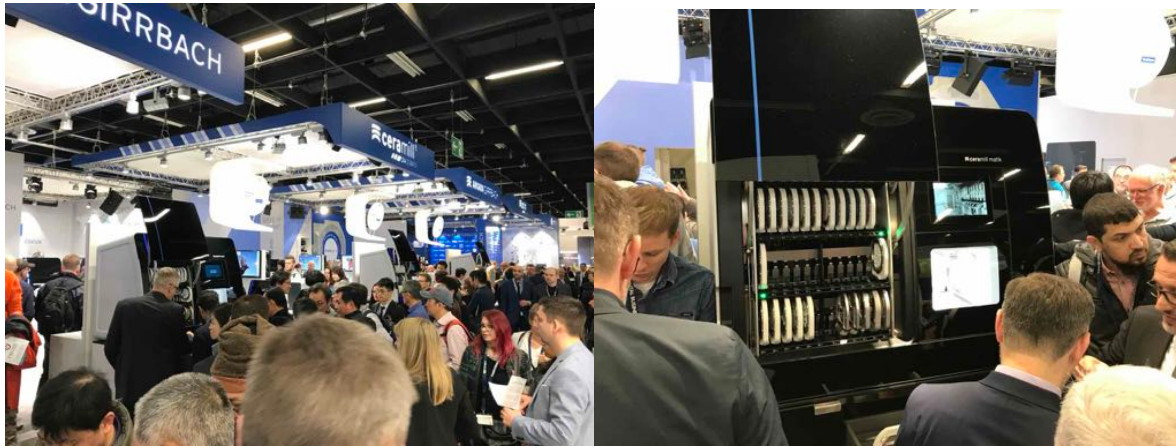
そんなイボクラで注目を浴びていたのは、「わずか3秒で！」と「3秒パワーキュアシステム」を謳っていた同社の「CR+ボンド+光重合器」システムです。『Tetric Power Flow (CR)』と、『Adhese Unicersal(ボンド)』と『Bluephase PowerCure(光重合機)』を組み合わせることで最短3秒での硬化を可能にするシステムに大きな注目が集まっていました。



また、注目を浴びていたのは同社新ジルコニアディスク『IPS e-max ZirCAD Prime』です。5層や7層のレイヤージルコニアとは違い、シームレスにグラデーションがかかったディスクで、高審美性で自然な色調を表現できながら高強度なジルコニアディスクがイボクラから登場致しました。また8枚のディスクオートチェンジが可能なミリングマシンに『PrograMill PM7』に廉価版で出てきた『PM3』や『PM5』、ほか3Dプリンタ『PrograPrint PR5』、洗浄機『PrograPrint CLEAN』、重合機『PrograPrint CURE』など様々なデジタル機器が同社から続々と登場し、歯科材料に強いイボクラはもちろん、デジタル化分野でも大きな進展が見られます。

ほか、『Ivo Smile』は、治療前の写真を撮った上で治療後のイメージを簡単に表示するなどコンサルティングに便利なシステムですが、そんな iPhone アプリも提供するなど、様々な面で進展を魅せる同社の新製品群に多くの注目が集まっていました。

⑦ アマンギルバッハ



オーストリアの『アマンギルバッハ』は、工業会向け CAD/CAM を制作していたアマン社と、咬合器メーカーのギルバッハ社が合併して誕生した会社ですが、欧州で非常に人気の CAD/CAM システムを提供します。前回 IDS でも大きな注目を集めておりましたが、今回の IDS でも非常に大きな注目を集め、人口密度の非常に高いブースとなっております。

そんな同社でまず来場者の目を大きく引いたのは、なんと 36 枚ものディスクをオートチェンジャーでチェンジしながら、セッティングした 2.5mm から 0.3mm と 26 本のバーで自動的にミリングする巨大なミリングマシンの『Ceramill matik』です。指定した仕事から、自動的に必要なディスクやバーを機械が選びミリングをしてくれるので、技工士は機械との間を行ったり来たりと繰り返す必要が少なく、デザインなどの生産的な仕事に集中できます。オートで廃棄物を分けるクリーニングシステムなど、ディスクホルダーにも RFID チップも搭載するなどして、オートメーション化に磨きかけた本製品には大きな注目が集まり、IDS 最初の 2 日間だけでも 20 台の販売がされるなど、注目度も人気も高い製品が登場致しました。



精度 $4\mu\text{m}$ で模型にマウントしたままスキャニングが可能なスキャナー『map600』は、中部日本 DS でも大きな注目を浴びましたが、それ以上に今回 IDS ではミリングマシンとセットで注目を集めておりました。その他にも新たに 3D プリンタと各種材料も発表するなど、注目度の高さに勢いを感じるアマンギルバッハブースでした。

Break time IDS の昼ごはんを楽しもう



IDS の広い会場の中には多くの昼御飯を食べられる場所も併設されています。ピザバーやパスタポイントとして、ピザやパスタを食べる場所がある他、「ケルッシュバー」としてケルンで有名なケルッシュビールを味わえる場所があるのも「さすがドイツ、さすがケルン」と思わせる点です。また、様々な食事から選べるフードコートもありますが、500ml のコーラやファンタより、330ml のケルッシュビールが安く販売されており、こんなところでもドイツらしさを感じます。他にも SUSHI & WINE BAR でお寿司とワインを食べられるような場所や、ホットドッグやアイスクリームを販売するスタンドなど、会場内には多種多様な多くのフードポイントがあるので、会場内の昼ごはんも「今日は何にしようかな？」と楽しむことができます。



また、ブース内でも、ビールやワインを飲める場所があったり、上得意先に料理などを振舞ったりと、日本のデンタルショーとはだいぶ違った要素もあるデンタルショーです。EMS ブースでは今回、お寿司やうなぎ、煮物など様々な日本料理が振舞われていました。私は、煮物を頂きましたが、腕利きの日本人料理人が作った煮物は椎茸と昆布の出汁がすごく美味しく、前日に飲み過ぎた胃に優しく美味しい味でした。ほか、リンゴやオレンジのディスプレイを食べさせてもらったり、搾りたてオレンジジュースを飲んだり、と「見て、聞いて、試して」と様々な製品との出会いが楽しいだけでなく「食べて、飲んで」も楽しいお祭りのような IDS に一度足を運んでみては如何でしょうか。

⑧ ケアストリーム



日本ではヨシダが発売されている『トロフィー』ブランドで有名なケアストリーム社は、旧イーストマンコダックのヘルスケア事業部で、本社は米国、世界 170 カ国に展開する巨大企業です。そんな同社で大きな注目を集めていたのは、新型 CT の『CS9600』です。まず特徴は、最大 FOV10×10 までボクセルサイズ 75 μ m と超高精細画像で撮影可能なこと。通常の 90kv での撮影とは別に、被曝量を増やさずに 120kv での撮影も可能(放射線が体内に残らず通り抜ける)で、アーチファクトも少ない超高精細な画像を得ることができます。また 360 度の実映像画像を活用して作成する CS MAR テクノロジーは予測 MAR とは違ったアーチファクト除去を可能にします。そして微細な放射線の CT によるスカウトと 2 方向カメラにより、位置付けが簡単な上に、必要な部位にフォーカスしての撮影が可能となります。また、同撮影位置は患者情報と共に記録されるため、次回に例えば同じエンドの部位を撮影したいというときも、ボタン一つで簡単に位置付けが行えます。ほか、液晶が設置され患者さんが固定する部分と、管球・センサー部分が独立して可動可能なため、患者さんが同じ位置のまま機械が高さを変えて 2 回転することにより、大きな範囲の撮影も画像統合の手間が少なく高精度で可能になるなど、良いことづくめの同製品。



座位にも立位にも対応のフレキシブルな椅子もついて、FOV 最大 12×10、16×10、16×17 と 3 種類が発売となりますが、簡単にアップグレードも可能なため、投資時の予算や必要 FOV に合わせて投資を行い必要があれば FOV 拡張もできる優れモノに多くの方の注目が集まっていました。また、他にもポルシェデザインでカッコよく、シェードテイクもできる新型口腔内スキャナ『CS3700』や、大型小型の 3D プリンターなど、デジタルデンティストリーが進展する各種新製品が多く展示され、多くの人で賑わうケアストリームブースでした。

⑨ DMG



ドイツハンブルグに本拠地を置く同社は、社員約のうち約 20%が商品の研究開発を行う化学者という材料専門メーカーです。日本ではヨシダから同社の『アイオノジットベースライナー』や『ルクサコア』、『ルクサバイト』、『ミニダム』などの製品が提供されており好評ですが、そんな同社で注目を集めていたのは、同社のバルクフィルシステムの『Ecosite Universal』です。

なんと、上記 A1～D4 の全ての歯には『Ecosite Universal』 1色が充填されているのみですが、近くで見ても、どこに埋まっているのか全くわからないほど 1色のみでカメレオン効果を発揮する同製品。ブラックライトを当てると充填部位がわかりますが、そうでなければ全くわからないほどの同製品はカメレオン効果だけでなく、通常のバルクフィルでも 4mm 程度が多い中、本製品は 1回で 5mm の深さまで一括充填可としているバルクフィル製品で、どんな色の 1級窩洞や 5級窩洞などにも充填が可能で、便利な製品に大きな注目が集まっていました。



また、同社で注目を集めていたのは、3Dプリンタ新材料です。クラウンブリッジでもそのまま利用できる『LuxaPrint Crown』が新登場。クラス II 医療機器の認証を取得した同製品は、3Dプリンタでの造形後、ポリッシングも簡単に素早くでき、クラウン・ブリッジ・インレー・アンレーなど様々な症例にそのまま活用が可能な製品です。また同『LuxaPrint』からは、今回「Ortho Flex」「Gingiva」「Base」が追加発表となり、前回発表の「模型用、トレイ用、キャスト用、ドリルスリーブ用、マウスピース用」と合わせ 9種類もの 3Dプリンタ材料が揃いました。

今回の IDS では続々と 3Dプリンター用材料も発表されており、今後の 3Dプリンターの動向にもアンテナを張っておきたいところです。色々な面白い製品を世の中に送り出す同社製品の日本展開も楽しみです。

⑩ プランメカ



プランメカ社はフィンランドで 1971 年創業。2D や 3D のイメージング製品、歯科ユニットなどを中心に世界 120 カ国以上に販売する大企業です。

そんな同社の CT からは『Planmeca Viso G5』が新たに登場致しました。患者さんの頭を後ろからも固定し、モーションアーチファクトが最低限で済む工夫も為されており、また FOV も 3×3 から 20×17 まで手元の液晶で液晶に映った患者さんの映像を見ながら、ipad 操作のように簡単に調整できるなど利点を有した製品に大きな注目が集まっていました。



また、プランメカの CAD/CAM システムも大きく進展しております。同社の新型口腔内スキャナー『エメラルド S』は従来品よりさらに使い勝手やスピードが UP しました。

動画を取りながら足踏みスイッチで静止画撮影も可能、撮影されたカラー画像も鮮明など、面白い機能が満載の製品です。スタンダードチップに加え、小さな口にも対応しやすいスリムチップや、カリエス診断に有効なカリオシティチップと 3 種類のチップを使うことができるなど様々な特徴を有する口腔内スキャナです。

ほか、ケミカル不使用でユニットの水を綺麗にする「プランメカ アクティブアクア」という機能がついたユニットも新たにお目見えしました。各種フィルターや、イオン交換チェンジャーにより化学薬品を不使用で水を綺麗にする仕組みに大きな注目が集まっていました。他、プランメカでも 3D プリンタがと登場するなど、同社のデンタル進展にも注目が集まります。

⑪ クルツアー



2013年7月に三井化学が買収したクルツアー。同社の3Dプリンターは中部日本デンタルショーでも金パラキャストにも使用できる3Dプリンター材料が登場し大きな注目を集めておりましたが、その3Dプリンタ造形後にウオッシュする機械（3Dプリンタの右横のぱっと見ミキサーのように見える機械）も新たに登場し、3Dプリント⇨ウオッシュ⇨重合と一連の流れをできる器具も揃え、同社の3Dプリンターを取り巻く環境がさらに充実致しました。



その他にもアナログ印象とデジタル印象の最新システムも同社から新登場しておりました。アナログ印象最新システムは同社のシリコン印象材システムの『Flexitime』です。精度の高いアナログ印象をスピーディーに取ることのできるシステムを導入することによって医院様のワークフローも簡便化できます。

また、デジタル印象では、3shapeとは違う『cara1500』と同社オリジナルのブランド名のスキャナを新たに発表。「Caraシリーズ」は、置型スキャナ、ミリングマシン、3Dプリンタ、口腔内スキャナと範囲が広がり今後の展開も気になるクルツアーのデジタルシリーズです。

ドイツの伝統的な企業に、日本企業の血が入った新生日独ハイブリッド企業の描く未来から、今後も目が離せません。

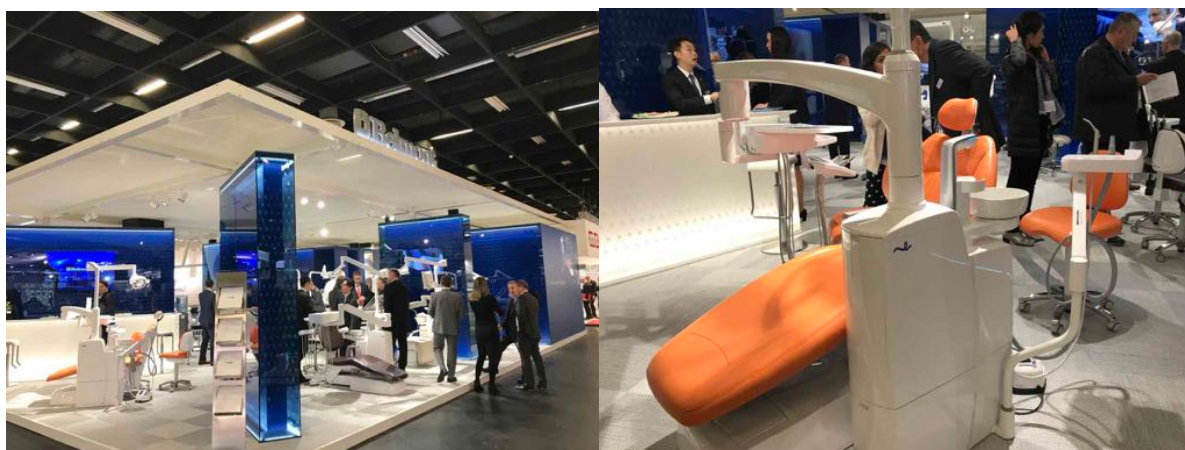
⑫ モリタ、タカラ

<モリタ>



日本で発表している新製品などを多く展示するモリタブースでは、『トライオート ZX2』が前面に展示されてましたが、同製品はドイツでも「German Design AWARD SPECIAL2019」も受賞し、ドイツでも大きな注目を集めております。また、ハンドピースメンテナンス装置の「ルブリナ」は水・オイル回路が1つでしたが、水回路・オイル回路とそれぞれ分けて放出し、より早く綺麗にできる『ルブリナ2』にも大きな注目が集まっておりました。また他にも VR と AR を歯科に活用した歯科教育システムの参考出品もブース後方にて実施するなど、未来に向けて新たに楽しみな可能性を提示するモリタブースでした。

<タカラ>



日本企業の中で、海外でのユニット売上高が一番多いタカラは英国ではトップシェア、米国でも上位に位置し、ベトナム工場も稼働させ発展途上国向けの生産も拡大しております。ユニット販売1万台以上と世界トップクラスを目指すタカラからは、世界同時発売ユニットの『ベルヴィータ』名称を『ユーラス』と変え発表していました。『ユーラス』は「東風の神」からとった名前ですが、彼が農地に雨を運んだという神話から、高い信頼の置ける日本品質製品を欧州や他国々へ運ぶということから名付けられた名前とのこと。海外市場に合わせた名前の考え方も含め、そのグローバルでの販売台数をのばしているタカラの一端を垣間みました。

⑬ オサダ 朝日レントゲン工業

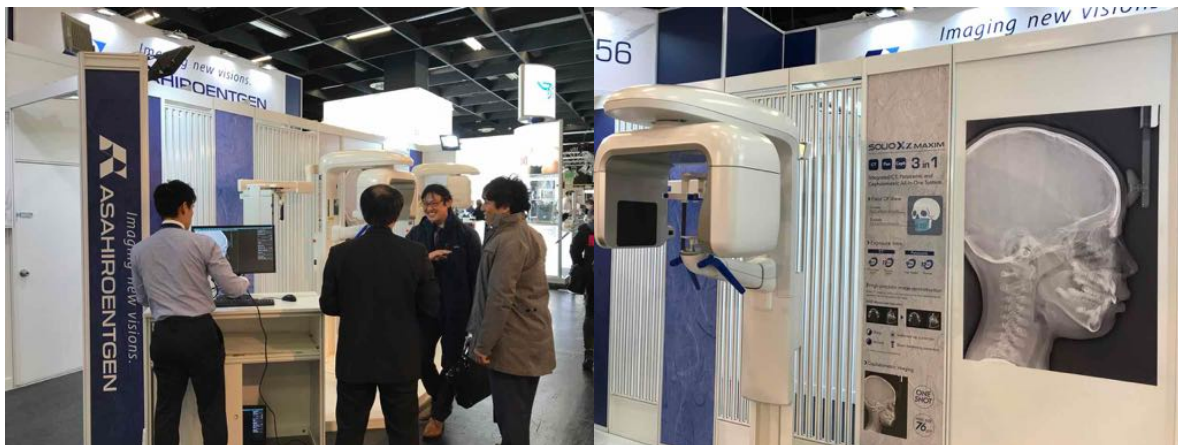
<オサダ>



オサダブースでは、小窓から覗けるお洒落な展示で、人気の『スマイリーイニシオ+』が展示されていました。欧州使用のために背板を特別に広くし、ファインシートを装備した製品ですが、かなり高級感もあり「いいな！」と思える展示でした。欧州市場で販売するための CE マークも取得し、多くの来場者の視線を集めておりました。

また、「for home care treatment」と高齢化の進んだ日本では、歯医者さんや衛生士さんがオサダの訪問用ユニットを持って家庭や老人ホームを廻って治療しているシーンも写真でお洒落に紹介しながら、訪問診療用コーナーを作り展示するなど、展示テーマ毎にわかりやすく展示されたオサダ製品の数々に多くの注目が集まっていました。

<朝日レントゲン工業>



朝日レントゲンで大きな注目を集めたのは同社最新人気 CT の『ソリオ XZ MAXIM』です。ピクセルサイズ $76\mu\text{m}$ の高精細画像をわずか1秒ワンショットで撮影できる優れもの。こんなに写真を大きく引き伸ばしても鮮明に見えるのだと海外の方も多くの方が「最高画質」のセファロ撮影画像に注目を集めていました。セファロで押えるべきポイントも今使用の製品より見やすいと多くの矯正歯科医師から注目を集めていた同製品。「Made in Japan since 1956」と大きくうたった同社から、Made in Japan の高品質品を世界に向けて発信していました。

⑭ 松風、トクヤマ

<松風>



松風ブースで大きな注目を集めたのは、人気口腔内カメラの最新機種『アイスペシャル C-IV』です。『アイスペシャル C-III』の充実した機能や品質に追加して、動画撮影機能や、テカリを押える偏光フィルターオプションも追加された注目製品です。『アイスペシャル C-III』でも十二分に満足な製品ですが、また魅力的な製品が出てまいりました。また、注目を浴びたのは、『山本リキッド』を使用したデモです。通常のセラミックだと塗布時と焼成後で大きく色調が変わりますが、塗布時に焼成後に近い色を確認しながら作業できる画期的製品に多くの海外の方が注目していました。松風の提供する Better Dentistry のための各種製品に今後も期待です。

<トクヤマ>



トクヤマブースでは「わずか1色のシェードで A1～D4 の全ての色に対応」という超画期的なコンジットレジンの発売を機に、この製品に絞ってのブース展示で多くの方の注目を集めていました。上記の各色の歯牙模型の中には、1色だけのオムニクロマが埋まっていますが、何処に CR が入っているかはブラックライトを当てないとわかりません。在庫調整もいらず、訪問診療などでもいいね！ホワイトニング後も廻りの歯の色に合いやすそうだね！など様々な利点を有する超カメレオン効果製品に大きな注目が集まっていました。米国で先月から、欧州で今回から発売開始で、日本の発売開始は先とのことですが、日本での販売が楽しみな製品です。

Break Time 2 デュッセルドルフ街紹介



デュッセルドルフ駅の様子。中はかなり大きく、様々なお店も入っています。

駅の前に登って何撮っているの？とおじさん像結構シュールな銅像が街のあちこちにありま

IDS の会場はケルンですが、来場者数約 15 万人と世界中から多くの方が来場する IDS ではケルンのホテルだけでは間に合わずホテル価格も大きく高騰します。そこで廻りの街を拠点にして IDS への行き来をする方が多いですが、日本人に特に人気の街がデュッセルドルフです。

人口約 60 万人の都市に約 5,000 人の日本人が居住すると言われ、欧州の中でロンドン、フランスに次いで日本人が多い街でもあります。また、世界で居住に適した街ランキングでも上位に位置するなど、住み心地も良い街のデュッセルドルフを写真中心に紹介させていただきます。



デュッセルドルフ駅から徒歩9分程度のところにあるホテルニッコー。IDS 中は歯科関連の方を多く見かけます。

ホテルニッコーのあるインマーマン通りには、数多くの日本料理屋も立ち並び、味も美味しいです。

まず、駅から徒歩5分程度で着くインマーマン通りには、ホテルニッコーや各種日本料理屋が立ち並びます。街を歩いていても、普通に現地で暮らしていそうな日本人とも多くすれ違い日本文化が大きく浸透した街で、特にこの通り一帯はリトル東京と言われたりもしています。

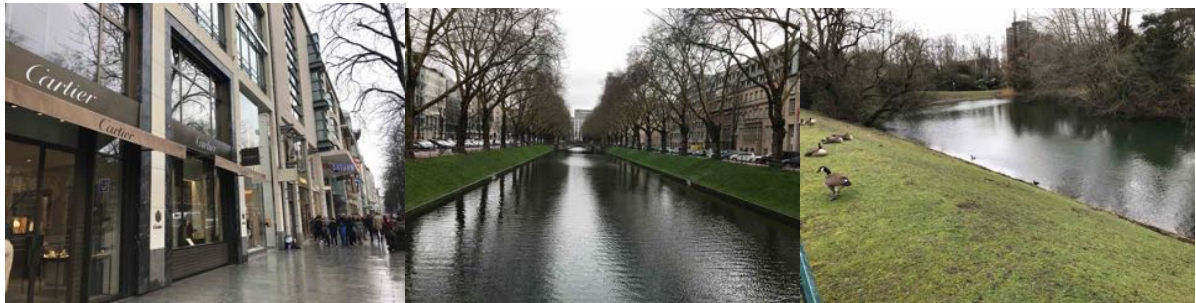


アルトビール醸造所老舗「シューマッハ」は、ホテルニッコーから徒歩5分程度の所。

歴史を感じる店内は多くの人で賑わいます。並ぶことは覚悟していくお店です。

ワンコ蕎麦式にコップが開いたら新しいビールが自動的に来る仕組み。

また、上面発酵のアルトビール発祥の地とも言われるデュッセルドルフは、美味しいアルトビールも堪能できます。麦芽の豊かな風味と、後に残るホップの苦味で、新鮮さが重視されるビールですが、まさに新鮮な地場で飲むアルトビールは最高です。飲むと新しいビールが自動的にドン運ばれてくるワンコ蕎麦式で、飲んだ数をコースターに印をつけていきます。



中央駅から徒歩 20 分程度の所にあるケーニヒスアレー。綺麗な小川の両側にお洒落なお店が立ち並ぶ高級繁華街です。

ケーニヒスアレーの北側に行くとホーフガーデンという落ち着いた公園も



中央駅から徒歩 25・30 分程度の所にあるアルトシュタット。ライン川近くで川を眺めながらビールと料理を楽しめます。また様々なバーやレストランなどが立ち並ぶ「世界一長いバーカウンター」といわれる一帯もあるなど、ビール好きにはたまらない街でもあります。

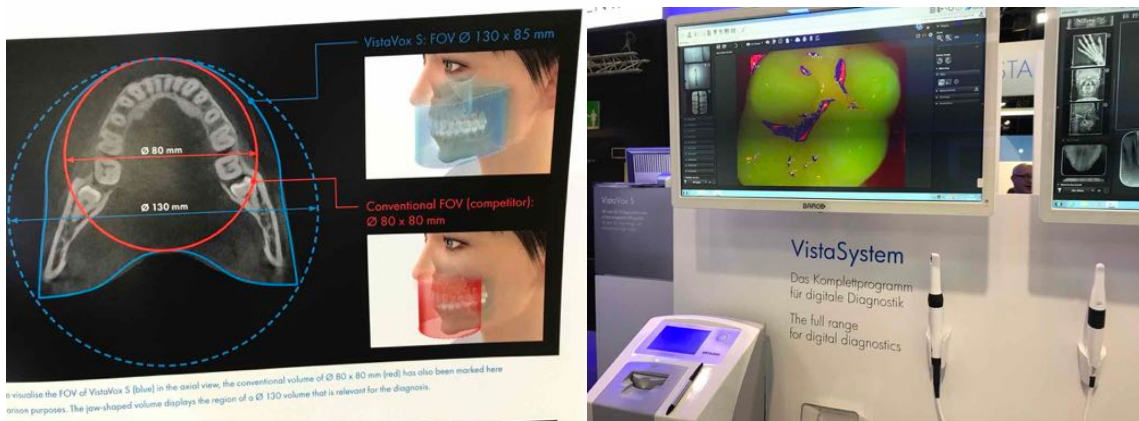
駅からライン川沿いへ歩いて行くと、ケーニヒスアレー、アルトシュタットと、見所がコンパクトに凝縮されていて、また、アートでも有名な街には美術館・博物館や、街でもアートを感じられるお店がちよこちよこあります。観光するにも魅力的な街「デュッセルドルフ」は、空港から電車で 15 分、ケルンメッセへは電車で 30 分(急行) (特急だと 20 分) で着く好立地ですので、IDS に行く際は是非寄ってみては如何でしょうか。

⑮ DURR

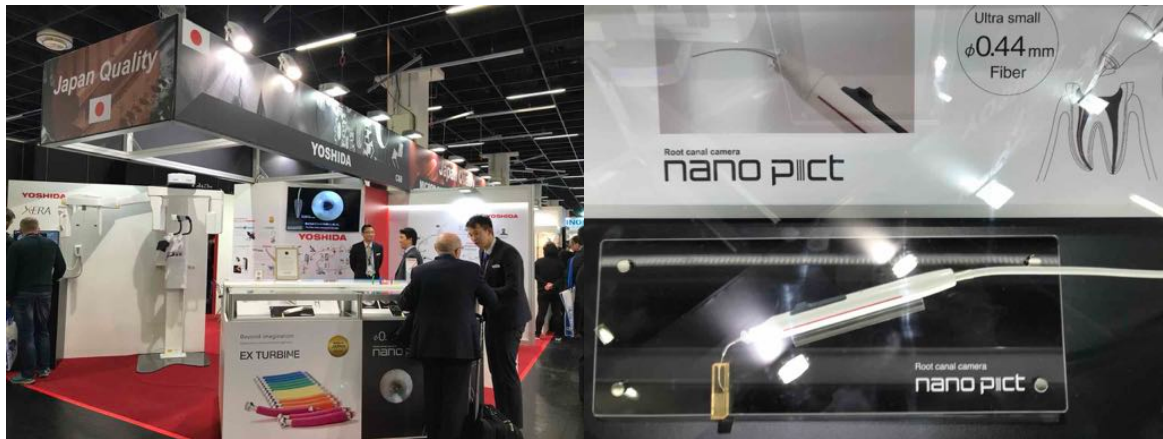


日本ではビスタスキャンやビスタカム、衛生製品で有名な独デュール社。ドイツ及び世界では、CT・レントゲン、コンプレッサー、バキュームなどなど、様々な多くの製品展開をしており、社員数も1,000人以上の大企業です。IDSでも同社製品を確認に世界中から多くの方々が訪ずれていました。

そんなDURRブースでまず目立ったのが同社のお洒落なCTです。見た目がお洒落だけでなく、実用性にこだわるのがドイツ企業。CTでは通常円形のFOVでどれだけの範囲を撮影するか決めますが、デュールの新型CT『Vista Vox S』では歯列弓に合わせた下記写真のようなFOVで $\Phi 130 \times 85 \text{mm}$ といった範囲の撮影を行い、最低限の被曝量で効率の良い撮影をできる仕組みを整えるなど、面白い特徴を持ったCTが展示されていました。



また同社システムで画期的な製品は、同社口腔内カメラの『VistaCam iX HD』です。綺麗な画像の口腔内写真撮影はもちろんのこと、カリエスチェックに適した同製品。深いエナメルカリエスは赤色、デンチンカリエスはオレンジ色、初期エナメルカリエスは青色といった具合に初期カリエスまで色分け表示ができる機能付きです。また、同社の上記製品や機械室系統の製品は全てIOTで繋がり一元管理できる仕組みも発表するなど、ドイツでも勢いがあり楽しみな会社です。上記紹介2製品は、今年中に日本での上市を目指しているそうですが、Made in Germanyの日本でのお目見えが楽しみな製品群と出会えました。

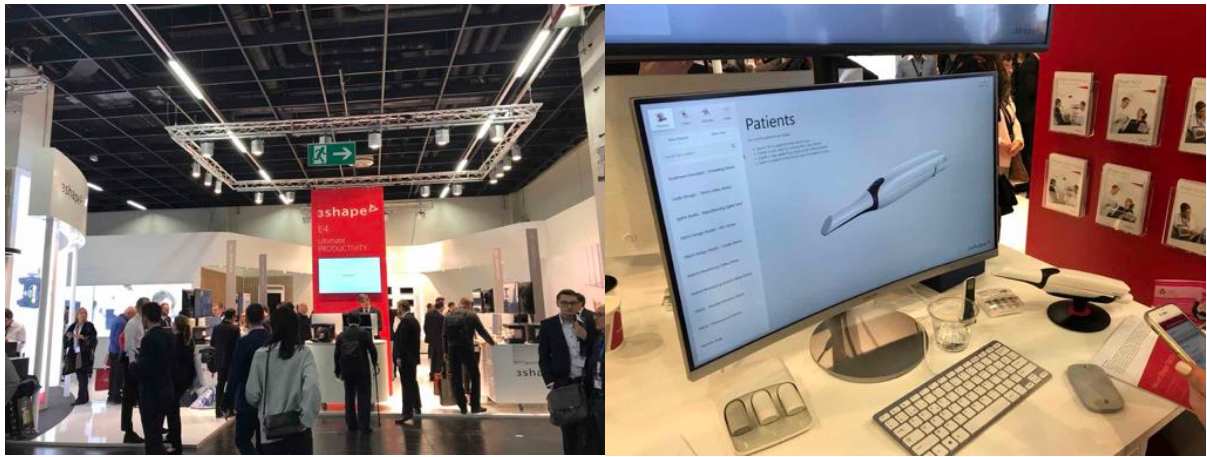
⑩ 日本パビリオン（ヨシダ、ニッシンなど）


ヨシダほか、多くの日本企業が集まる日本パビリオンでは、日本人はもちろんのこと、海外の多くの方へも日本の良い製品情報を発信しておりました。ヨシダではエクセラ×オシリス×ファインキューブの良いところどりの注目 CT『エクセラ MF』が大々的に展示されるほか、根管内部やポケット内部を見ることのできる超小型カメラ「nano pict」が多くの方々の注目を集めておりました。また、スカイロードに似た『ロイヤルロード SDCI』という製品が展示されていたため、何が違うか確認した所、自分でタービン交換できる仕様とのこと。世界ではメーカーが直ぐに修理できる物流体制が整っていない場所が多く、自身でカートリッジ交換をする先生が多いとの話も聞き、国によって環境も違い、求められる製品も違うのだなと改めて感じさせられました。



また、大きな注目を浴びていたのは、ニッシンが展示していた『simodont』というバーチャルリアリティを活用した歯科治療学習機です。実際に3Dの映像を見ながら、タービンを廻し、切削する音や感覚までが手に伝わってくる優れたもの。エナメル質、象牙質、軟化象牙質などによる切削感の違いも感じ取れ、インプラントで下顎管を注意しながら行う治療のシュミレーションなど様々な治療を行うことができます。オランダ アムステル大学では50台が導入されているなど、既に海外の大学では多く導入されている同機械。実習の前の、プレ実習で本機械を活用して勉強する大学が多いようですが、日本の大学でもこのような機械の活用が増えてくることが予想されます。他にも数多くの日本企業が注目を浴び、Made in Japan を発信する日本パビリオンでした。

⑰ 3 shape



多くの人だけの 3 shape ブース。今回大きな注目を浴びていたのは口腔内スキャナ最新機種『トリオス4』です。『トリオス4』で新たに加わったのは、ダイアグノデントのようなカリエスチェック機能がスキャナに搭載されたこと。口腔内をスキャンしながら、カリエスにも気づきやすくなる機能に多くの方が注目しておりました。また、カリエスチェック機能だけでなく、AIにより余分な軟組織や指が映りこんだら自動消去してくれる機能や、スマートチップで直ぐに温め即時撮影開始ができるようになったことや、バッテリー寿命が延びたことなど様々な進化を遂げた『トリオス4』に大きな注目が集まっていました。



また、口腔内スキャナだけでなく、置き型スキャナも進化しております。前回発表の E1～E3に加え、上位機種の E4 を発表。4つのカメラを搭載した同機は、フルアーチのスキャン速度が E3 の更に半分の 11 秒、精度も約倍の $4\mu\text{m}$ と大幅に向上しました。E3 と同じくカラーのテクスチャスキャンももちろん可能で、デジタル技工の精度やスピードが更にアップしました。

「スキャナ」という一本槍の技術を研ぎ済まし、「ミリング」などは他社との連携・Open 化で裾野を広げる 3shape。スキャナ技術革新をどんどん進める 3shape の今後の展開にも大きな注目が集まります。

⑱ バウシュ・ウルトラデント

<バウシュ>



咬合紙で有名なバウシュ。実は、IDS が開催されるケルンが本社の会社です。

咬合紙はアナログで精度を競う「匠」の世界の一品を世界に供給し続ける同社で、デジタルとは今まで大きく離れた世界の同社でしたが、そんなバウシュが今回発表したのはデジタル咬合機の『オクルセンス』です。未来の咬合システムとも言える同機では、咬合状態を時系列に沿った 3D 動画で確認することができ、咬合バランスも視覚的にわかりやすく把握することができます。今までの咬合紙ではわからなかった初期接触がどこでおこって、どう噛み締める具合で咬合が変化するかといったことも診断できる画期的な機械。診断にはもちろんのこと、患者説明にも大きな威力を発揮すると世界中の方から大きな注目を集めていました。アナログだけでなく、デジタルへ、そんな同社の今後の展開も楽しみです。

<ウルトラデント>



ウルトラデントで大きな注目を浴びていたのは、新製品『パログランデ』のコード有タイプです。コードレスタイプが先行販売しておりますが、それより軽く、またライトの ON/OFF スイッチが腹面と背面の両方について、取り回しが便利な上に、ライト部分が大きく一発で多くの範囲を重合できる便利な一品に大きな注目が集まっていました。

また、注目を浴びていたのはフッ化物バーニッシュの『enamelast』です。フッ素を高濃度で含み、また、長い時間にわたってフッ素を放出し続ける同バーニッシュは使いやすい個包装。オレンジクリームやミント、ベリーなど、フレーバーを楽しめるのも利点の一つです。その他にも日本への上陸が待ち遠しいお手軽ホームホワイトニングの『Go!』など、様々な製品が注目を浴びるウルトラデントブースでした。

⑱ EMS、コルテン

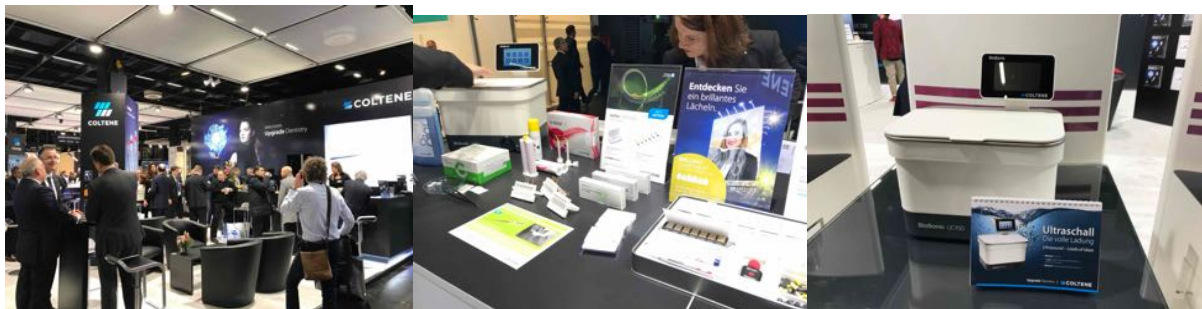
<EMS>



日本ではヨシダや松風、モリタなどが販売している EMS 製品。EMS では『Guided Biofilm Therapy』と大きな広告で『エアフロープロフィラキスマスター』を一押ししておりました。同製品は前回 IDS での発表でしたが、非常にスタイリッシュなデザインな上に、パウダー消費量を従来品比で抑え、粉や液の設置も行いやすい製品です。また今回 IDS で発表の歯肉縁下用チップは従来品より更に薄くしなやかとなり、より診療が行いやすくなった上、GBT(Guided Biofilm Therapy)の手順がわかりやすく図解されたガイドブックも公開され、「院内システム」として廻す体制までわかりやすくサポートしてくれています。GBT ガイドブックは日本語版が製品を購入すると付いてくるほか、「松風 GBT」で検索すると「Treatment Recommendations」という PDF 資料も御覧頂けますので GBT に興味をお持ちの方は是非御覧ください。

FDI(世界歯科連盟)の GPHP(世界歯周健康プロジェクト)の作成した歯周ケアサイドガイドブックでも「エアポリポリッシャー」の一文が入り、注目を浴びる同社製品に是非ご注目ください。

<コルテン>



日本では東京歯科産業が HyFlex シリーズのエンド商品などを扱い有名なコルテンはスイスを拠点とする総合歯科材メーカーです。近年、研磨剤で有名な KENDA や、滅菌器システムで有名な SciCan(サイキャン)を買収し、更に規模拡大を図っている有力企業です。

そんなコルテンから新製品として登場していたのは、『ブリリアント コンポニア』です。歯牙形態に合わせて作成された既成テンプレートを利用し、簡単に素早くベニアを作成できるシステムに大きな注目が集まっていました。また、タッチ液晶操作で音も静かな超音波滅菌器『Bio SonicUC150』の上市など様々な製品を供給するスイス有力企業の今後も楽しみです。

⑳ 予防製品（クラデン、サンスターほか）



クラプロックスの歯ブラシで有名なスイスのクラデン社は世界的に知名度が高く多くの来場者で賑わっていました。そんなクラデン社の新製品は「ビターオレンジ」から抽出された「CITROX」とクロルヘキシジン（CHX）を含有したマウスウォッシュの『クラプロックス ペリオ+』です。天然由来の CITROX で CHX 単体よりも効果が増す上に、口に含んだ味わいもほのかにシトラスの香りが残る爽やかな味です。CHX 濃度が 0.05%～0.2%まで様々な濃度の製品が出ていましたが、0.05%の製品は風味も良く、日本で発売されたら是非使ってみたい製品でした。

また、同社の歯ブラシにも使用している優しい CUREN ファイバーを活用した電動歯ブラシ『Hydrosonic Ortho』も新発売となっていました。こちらはお洒落な形状な上、22,000～42,000振動/分での7レベル振動モードから選べる設計で、磨き心地も優しいのに、歯磨き後はツルツルと新感覚の電動歯ブラシです。Made in SWISS のお洒落なブランド製品。こちらも日本に入ってきたら雑誌などでも取り上げられそうなお洒落な製品です。一般量販店で安く購入できない差別化された製品を歯医者さんに置けることも魅力ですし、日本での発売とならないか楽しみな製品です。



またサンスターでは電池式のコードレスで軽い電動歯ブラシが発表されました。こちらは 10 ユーロを切るリーズナブルな設定で、「電動歯ブラシ」と一言と言っても、4-5 万円の高級品から 1,000 円程度の安価なものまで色々とあるなと感じました。

また、予防大国北欧スウェーデンで有名な Tepe は、北欧らしく環境に優しい歯ブラシを販売しており、大きな注目を集めておりました。石油由来ではなく、サトウキビの絞りカスを利用したバイオ原料を使用し、製造から破棄までの工程で CO2 を 95%も削減できるという商品です。環境意識の高い北欧ブランドの取り組みにも大きな注目が集まっていました。他にもフィリップス、グラクソスミスクライン、オーラル B など予防各製品が大きな注目を集めていました。

終わりに…

IDS 訪問レポートを最後までご覧頂き誠にありがとうございました。

今回の IDS は、世界の各社から最新の口腔内スキャナー、CAD/CAM、3D プリンター及びその材料が数多く出展され、IT 技術を活用した未来の歯科医院像を見せる各種内容など『デジタルデンティストリー』が「より」進展してくることをゾクゾクと感じる内容で、また予防や各種診療・エンドなどでも役立つ製品が多く登場しており面白いデンタルショーだと感じましたが如何でしたでしょうか？

次回の IDS は 2021 年 3 月 9-13 日に開催されます。前回 IDS に比べ、今回 IDS は出展面積も来場者人数も更に増えるなど成長しているデンタルショーですが、今回のレポートで興味を持って頂いた方は、是非一度訪問されてみてください。

株式会社シラネは、歯科医療を支える歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、歯科助手の皆様へのお役立ちを通じて、「人々の笑顔、健康」に寄与することを目指しております。皆様の毎日の治療が、より安全安心に進められますよう、最新の歯科機械・器材の情報伝達や、セミナー情報等の発信に努めており、本レポートの情報発信もその一助となれば幸いです。

気になる製品等がございましたら、お気軽に株式会社シラネ営業マンへお声掛けください。まだ海外でも参考出品の品や、日本での発売予定日なども未定の製品がほとんどですが、興味頂いている製品が日本市場へ登場する際には一早く情報をお届けできます。なお一層、器材のプロとして皆様のご信頼が得られますよう、日々精進・研鑽をつんでいく所存ですので、引き続きのご愛顧、お引き立てをどうぞ宜しくお願い致します。

以 上

(取材・編集) 株式会社シラネ 代表取締役社長 榊原利一郎